

平成 28 年 11 月 18 日(金)

国土交通省 関東地方整備局

関東運輸局

記者発表資料

～京浜港物流高度化推進協議会～

「第12回物流効率化に関する荷主意見交換会」を開催しました

京浜港物流高度化推進協議会(委員長:中田信哉神奈川大学名誉教授、事務局:関東地方整備局、関東運輸局)は、学識経験者及び京浜港に関係する事業者団体、行政の関係者等により構成し、京浜港の競争力強化や背後圏での物流の高度化に向けた課題解決を図るための様々な取組を行っています。

同協議会では、活動の一環として、京浜港の利便性を高める取組を効果的に進めるべく、国際海上コンテナ輸送を利用する荷主企業との意見交換会を平成 19 年より毎年実施してきております。

この度、11 月 1 日(火)に、荷主企業 9 社にご参加いただき、第12 回目となる意見交換会を開催いたしました。当日は、海上及び陸上からの横浜港・川崎港の見学会の後、港湾物流の効率化などをテーマに意見交換会を行い、ユーザー視点から貴重なご意見をいただきました。意見交換会の詳細については別添をご覧ください。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ・神奈川建設記者会・横浜海事記者クラブ・物流専門紙・その他専門紙

問い合わせ先

関東地方整備局 港湾空港部 港湾物流企画室

室長 今野 頼夫 (こんの よりお)

専門官 田口 由美子 (たぐち ゆみこ)

電話 045-211-7437 FAX 045-211-0204

**京浜港物流高度化推進協議会**  
**「第12回物流効率化に関する荷主意見交換会」開催結果**

- 開催日時 平成28年11月1日(火) 13:15~17:30
- 開催場所 第1部 港湾視察 (13:15~15:15)  
(海上より 横浜港~川崎港 陸上より 川崎港コンテナターミナルを視察)
- 第2部 意見交換会 (16:00~17:30) 会場:サンピアン川崎
- 参加企業 (※五十音順)  
いすゞライネックス(株)、(株)イトーヨーカ堂、キヤノン(株)、(株)クボタ、  
サントリービジネスエキスパート(株)、東芝ロジスティクス(株)、  
日産自動車(株)、日清物流(株)、(株)LIXIL 計9社

**第1部 横浜港・川崎港港湾視察の様子**

海上コンテナ年間取扱貨物量全国2位の横浜港、近年アジア貨物を中心に取扱量が急増している川崎港を関東地方整備局所有船「たかしまⅡ」に乗船して視察しました。横浜港では大型コンテナ船の荷役状況のほか、自動車運搬船、LNG船など、多くの船舶が頻繁に行き交う両港の様子をご覧いただき、その後、川崎港に上陸し、川崎港コンテナターミナルを視察しました。



荷役中の10,000TEU級船舶(本牧D4)



川崎港コンテナターミナル視察

**第2部 意見交換会**

■議事

- (1) 京浜港の情勢について
  - ・コンテナ物流を取り巻く情勢(アライアンス再編等)
- (2) 物流効率化に向けた取組
  - ・物流総合効率化法改正
  - ・労働力不足の現状、ゲート前渋滞の現状
  - ・ICTを活用した効率化
- (3) 意見交換

## ■主な意見

### (横浜港基幹航路減少の影響)

- ・ 現状は欧州航路に変わり、新しく提供された航路を利用することで、物流に悪影響は出ていないが、欧州基幹航路が無くなることにより、将来的に、輸送コスト増大、リードタイム増加等の懸念がある。

### (韓進海運破綻の影響)

- ・ 他国・他港では受入拒否がされていたが、東京港では、問題発生後も入港、荷役をしていただいたため、物流が大きく滞ることがなく、大変助かった。

### (労働力不足)

- ・ ドライバー不足は大きな問題。国として、できる対策は早急に打って欲しい。
- ・ 企業としても対策を進めており、コンテナマッチング・ラウンドユース、同業他社・異業他社との共同配送や、荷待ちの待機時間の削減、コンテナ積載効率の向上など、輸送効率を上げる様々な取組を進めている。
- ・ コンテナマッチング・ラウンドユースについては、物流業者に対する支援方策を考える必要がある。
- ・ 2020年の東京オリ・パラ開催に向け、労働力不足の悪影響を懸念している。

### (物流高度化)

- ・ コンテナ搬出入予約制やオフドックデポなど施策に期待しているが、どのように施策展開していくのか、ロードマップを示してほしい。
- ・ 輸送中コンテナの状況把握のため、NACCS、船社など様々なサイトにアクセスしている。これら情報の一元化ができるサイトがあると確認の効率化が図れる。
- ・ 45ftコンテナ普及に向け、今後のガイドライン等などがあれば示してほしい。
- ・ 輸出コンテナの総重量確定制度について、ICTの活用や情報の一元化、ヤードに重量計を設置するなどの対策、検討が必要ではないか

### (その他)

- ・ コンテナ物流の問題の多くは、国内での陸上輸送の問題と認識しており、荷主企業だけではなく、陸運企業等も含めた意見交換の場が必要と考えている。
- ・ 地方港がそれぞれインセンティブを与えて、国内の貨物を取り合っている現状について、国として考えた場合、改善する必要があるのではないかと考えている。



意見交換会の模様